

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター研修【第1回】

5月26日(木)10:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者20名

### 1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

### 2 内容

【講義】「青森県の社会教育行政」 県生涯学習課・県総合社会教育センター職員

【講義】「社会教育概論」 八洲学園大学 教授 浅井経子（あさい きょうこ）氏



### 3 浅井氏講義要旨

- まず、社会教育行政に携わる者として、「社会教育」「生涯学習」という言葉を、正しく理解することが大切です。これまでの経緯を踏まえることや、「教育」と「学習」の違い、その理念などについて押さえておきましょう。
- 社会教育が更に効果的に力を発揮していくためには、データの収集、分析、活用が求められます。
- 期せずして、コロナ禍により、社会教育はデジタル化の恩恵を受けるようになったと言えるかも知れません。時代の流れを捉えながら、課題解決に取り組むことが必要です。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	80%	どちらかと言えば不満。	0%
どちらかと言えば満足。	20%	不満	0%

#### (受講者の感想)

- 特にデジタル化およびハイブリッド型の学習支援について、県外の進んだ事例や、技術が含んだ多くの可能性に、衝撃を受けました。地域のコワーキングスペースやオンライン設備の整備、住民への実践的なオンライン連絡手段の講座等を浸透させ、生きがいへと結びつく学習環境づくりを目指したいと思いました。
- 社会教育の基礎から、現在における社会教育の問題点なども提示していただき、これから業務を進めていく上で意識していきたいと思った。個人の学習を促す環境の醸成を持続させる方法を、現代の様々な手法と組み合わせ（デジタル化など）考えていく必要があると感じた。
- 「これからの社会教育についても、深く考えることができた。社会的包摂も考え、オンラインやハイブリッド型の学習機会を構築していかなければならないと思った。」
- 「現在の職場で学ぶ場の提供はしているものの、その学んだ成果を生かす場が実はあまり設定していないことに気づきました。マルチステージ時代へ対応するためにも、多様な学びの場や、活用を今後一層増やしていくことが大切だということが分かりました。」

本研修第1回目として、県の課題として捉えているもの、その解決に向けた事業展開について理解するとともに、社会教育界の重鎮、浅井氏による講義「社会教育概論」を行いました。社会教育行政に携わる者として、理解しておかなければならないこと、注意すべきことなどを確認する、貴重な機会となりました。

浅井先生からは、貴重な情報をふんだんに提供していただき、参加者は明日からの業務に身を引き締め向かい合う思いを強くしていました。